

2025.4.19 sat [土] >>>>> 2025.6.15 sun [日]

HIS CIRCLE OF FRIENDS

LEO LIONNI AND

レオ・レオーニと仲間たち 刈谷市美術館

朝日新聞名古屋本社発刊90周年記念



刈谷市美術館
KARIYA CITY ART MUSEUM

〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町 4-5
Tel.0566-23-1636 Fax.0566-26-0511
<https://www.city.kariya.lg.jp/museum/>

主催=刈谷市美術館、朝日新聞社
企画協力=Blueandyellow,LLC、コスモマーチャンダイジング
特別協力=板橋区立美術館 協力=好学社、あすなろ書房、至光社 後援=愛知県教育委員会

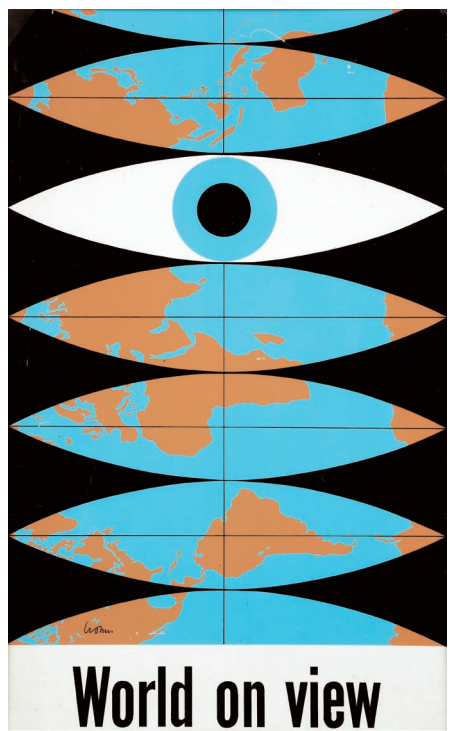
レオ・レオーニ『植物学』1991年 Works by Leo Lionni, On Loan By The Lionni Family
レオ・レオーニ『マッシューのゆめ』原画(部分)1991年 Matthew's Dream © 1991 by Leo Lionni/Knopf Works by Leo Lionni, On Loan By The Lionni Family

開館時間
休館日
入場料

9:00～17:00 (入館は16:30まで)
月曜日(ただし5月5日は開館)、5月7日(水)
一般1,100円/学生800円/中学生以下無料
*身体障害者、精神障害者保健福祉、療育の各手帳所持者及び付き添いの方(1名)は入場無料。
入館の際に手帳をご提示ください(ミライロID可)。

LEO LIONNI AND HIS CIRCLE OF FRIENDS

小さなさかなのお話『スイミー』、青と黄の抽象的な形が織りなす物語『あおくんときいろちゃん』。これらは、刊行から60年以上たつてなお愛され続けるレオ・レオーニ (Leo Lionni 1910-1999) の絵本です。レオーニは、20世紀のイタリアやアメリカにおいて、絵画、デザイン、絵本など多彩な分野で活躍しました。本展では、レオーニの生涯にわたる制作活動を辿るとともに、影響関係にあったアーティストたちを併せて紹介します。1910年にオランダで生まれ、幼少期から豊かなヨーロッパ文化を享受して成長したレオーニは、青年期にはイタリアでブルーノ・ムナリー (Bruno Munari 1907-1998) をはじめとする多くのアーティストや文化人と交流し、影響を受け合いました。イタリアで差別的な人種法が制定されたことをきっかけに、ユダヤ系だったレオーニは1939年にアメリカへ渡ります。アートディレクターとして活躍する一方、絵画の制作にも打ち込みます。後半生はイタリアとアメリカを往来しながら画家、彫刻家、そして絵本作家として多数の作品を生みだしました。ヨーロッパとアメリカ、コマーシャルアートとファインアート、さまざまな世界を越境して制作を続けたレオーニの活動の全貌を、20世紀の文化史の大きな流れの中から検証します。本展の最終章では、30年以上におよぶレオーニの絵本づくりの軌跡を振り返ります。自己のアイデンティティ、平和な社会への思い、アーティストとしての自負など、レオーニが生涯考え続けたテーマが織り込まれた絵本の主人公たちは、まるでレオーニの分身のようです。絵本ごとに異なる多様な技法や描き方を、どうぞお楽しみください。



1 ベン・シャーン『フォーチュン』(1951年1月号)表紙 ©Estate of Ben Shahn / VAGA at ARS, NY / JASPAR, Tokyo 2024 E5693 2 レオ・レオーニ『ユネスコ ポスター World on view (世界を見わたす)』1952年 板橋区立美術館蔵 (Gift of the Leo Lionni Family, 2021) 3 レオ・レオーニ『あいうえおのき』ちからをあわせたもじたちのはなし』原画 1968年 The Alphabet Tree ©1968, renewed 1996 by Leo Lionni/Pantheon Works by Leo Lionni, On Loan By The Lionni Family 4 レオ・レオーニ『フレデリック』原画 1967年 Frederick ©1967, renewed 1995 by Leo Lionni/Pantheon Works by Leo Lionni, On Loan By The Lionni Family 5 ブルーノ・ムナリー『ムナリーのフォーク』(Corraini Edizioni 1997年) Bruno Munari, Le forchette di Munari (Corraini Edizioni 1997) ©1958 Bruno Munari. All rights reserved to Maurizio Corraini s.r.l. 6 レオ・レオーニ『想像肖像シリーズ (金髪の人)』1963年 板橋区立美術館蔵 (Gift of the Leo Lionni Family, 2021) 7 レオ・レオーニ『プロジェクト: 幻想の庭』1978年 板橋区立美術館蔵 (Gift of the Leo Lionni Family, 2021)



相互割引のご案内

「レオ・レオーニと仲間たち展」入場券(半券も可)の提示で、割引が受けられます。(入場券1枚につき、各館1回1名限り。各種割引との併用不可)

- 高浜市やまの里から美術館・図書館
「うっかりやさんのベネロへ絵本原画展」当日券2割引
会期: 4/12(土) ~ 7/6(日) Tel.0566-52-3366
- 刈谷市歴史博物館
「木札の世界一本に書き残された歴史」観覧料100円引
会期: 4/26(土) ~ 6/8(日) Tel.0566-63-6100

刈谷市美術館 KARIYA CITY ART MUSEUM

〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4-5
Tel.0566-23-1636 Fax.0566-26-0511
<https://www.city.kariya.lg.jp/museum/>



関連イベント

申込方法やイベントの最新情報は、当館ホームページをご覧ください。

**こどもの日は
わくわく☆ミュージアム**
5月5日(月・祝)
①「つくろう! オリジナルしおり」
10:00 ~ 15:00
②「レオーニ絵本のよみかかせ会」
10:30 ~ / 11:30 ~ / 13:30 ~

**ワークショップ
「レオーニ絵本のひみつ
一紙や模様をちぎって、はって」**
5月11日(日) 13:30 ~ 15:00

**講演会
「レオから教えてもらったこと」**
5月18日(日) 14:00 ~ 15:30
松岡希代子さん (本展監修者・板橋区立美術館長)

学芸員によるギャラリー・トーク
毎週木曜日
14:00 ~ 15:00
ねずみモチーフ割引

交通案内
●電車 >>>>
JR・名鉄三河線「刈谷駅」下車、南口から徒歩約10分
*「刈谷駅」はJR「名古屋駅」から快速で約20分
●車 >>>>
名古屋方面より=国道23号線(知立バイパス)
「一ツ木IC」から約5km *駐車場あり(無料80台)